



大電力のAC電源が使える!?

File No. #002

KAIROS
Vehicle to 100V
価格：未定



クルマのバッテリーにうなぐだけで、最大1000VAの電源を供給できる車両接続型電源。エンジンをかけた普通乗用車なら800W程度のAC100V電源を出力でき、正弦波なので機器を選ばず使用できる。12/24V入力と24/48V入力の2モデルを用意。

クルマを発電機代わりに使う

新発想の車両接続型電源

最大800Wの家庭用AC電源がまかなえる

電源を確保するための防災アイテムといえばポータブル電源や発電機を連想するが、実はクルマそのものを非常用電源として使うこともできるのだ。この『Vehicle to 100V』は、エンジンをかけたクルマのバッテリーに接続して、最大1000VAのAC100V電源を確保

バッテリーへの接続をチェック

接続方法が明記されているので慣れない人でも安全に使える



本体は樹脂製で、質量は約10Kg。しっかりしたハンドルが付いているので持ち運びもしやすい。



ケースを開けるとワニ口ケーブルが収納されており、ふたの内側には接続方法が明記。電気やクルマに詳しくない人でもすぐに使えるようになっている。



説明書通りにまずは赤のワニ口クリップをバッテリーのプラス、黒のワニ口クリップをマイナスに接続する。



ケーブルを本体に接続する。万が一ワニ口クリップの接続が逆でも逆接続保護機能が内蔵されているので安心だ。

使い勝手をチェック

保護機能も装備しており安全対策はバッチリ



問題なくバッテリーに接続できたら電源をオン。冷却ファンが回り出せば準備はOKだ。



接続が間違っていたりバッテリー容量が不足していると赤色LEDが点滅。問題なく電源が供給されていれば緑色LEDのみが点灯。



家庭用AC100V電源は2口用意されていて、アース端子も装備。海外製の3極プラグもそのまま差し込める。

見た目通りのタフネス設計で安心して使える

いかにも頑丈そうな樹脂ケースを開けると、長さ3mのワニ口ケーブル

00VAのAC100V電源を確保できるという車両接続型電源なのである。東日本大震災以降、電源確保の手段はいろいろ考えられてきたが、普通のクルマをPHVなどと同様の非常用電源として使うというこのスタイル。使い勝手も含めてテストしてみた。

が収められており、これをクルマのバッテリーに接続。そして本体に接続し、電源をオンにすれば2口のコンセントからAC100V電源が得られるという仕組み。いわゆるDC/ACインバーターなのだが、長時間の使用に耐えられるよう大型冷却ファンの装備など見た目通りのタフネス設計となっている。もちろんアウトドアレジャーでも気軽に使用でき、誤配線保護機能も内蔵されているので、慣れない人でも安心して使うことができるのだ。

結論

フリーユーザー設計で非常用に最適なアイテム

取り扱いに注意が必要な大容量電源を、慣れない人でもすぐに使えるように設計されており、非常用として満点の防災アイテム。もちろんアウトドアレジャーなど普段でも気軽に活用できるが、デザインはちょっと物々しいかも。